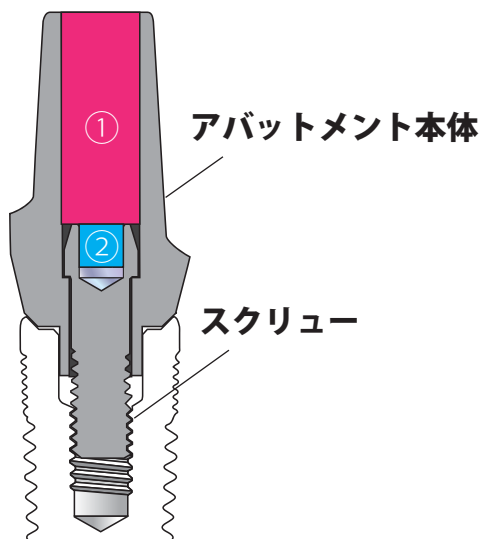


アバットメントスクリューの緩み防止法

インプラントはコンポーネント間をスクリューで連結する構造が主流ですが、安全に機能させるためにもスクリューの緩みへの対策が重要です。

下記は、スクリューの緩みを防止するための基本テクニックです。可能な限り徹底することで、アバットメントスクリュー、あるいは可撤式補綴物のフィクセーションスクリューの緩みを予防します。

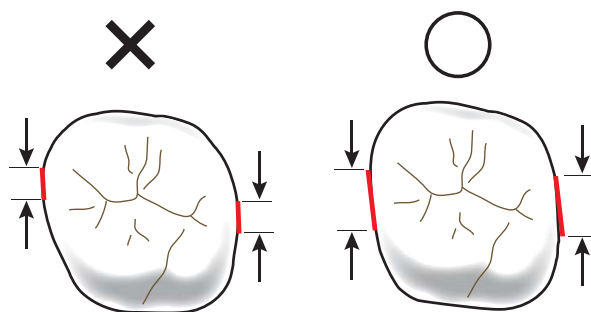
- インプラントへの連結時、締結したスクリューを一度緩めてから再び締結し直す。
- 健全なオッセオインテグレーションが得られていれば積極的に 30Ncm のトルクレンチを使用し、スクリューの締結を行う。
- 20Ncm しか掛けられないような場合には、必ず増し締め（2 回以上の締結）を行えるようにスケジュールを組む。たとえばテンポラリー除去時など。
- スクリューの最終締結後、アバットメントのスクリューホールを CR 等を用い確実に封鎖する。（図 1）
- 補綴物の隣接コンタクトの面積を広めに取り、回転防止を補助する。（図 2）



- ① CR 等の硬質材料
- ② ストッピング等除去の容易な材料

【図 1】

※スクリュー上方のスペースを封鎖することで、緩みを防止します。



【図 2】

※特に単冠の場合、回転方向の動揺を抑えることで緩みを防止します。